

2022 年度 昭和大学藤が丘病院 業績

原著論文 (英文)

1. Antimicrobial Stewardship Program for Patients in the Hematological Department Receiving Carbapenem Therapy: A Single-Center and Interrupted Time Series Analysis
Ayako Suzuki, Fumihiro Yamaguchi, Masayuki Maeda, Miyuki Hashiguchi, Nobuyuki Kabasawa, Jun Sasaki, Tokutada Sato, Masaki Fuyama, Yohei Yamazaki, Kei Endo, Kae Iwata, Sei Kobayashi, Hisato Fujihara
Antibiotics, **12**: 302. 2023 Feb.
2. Effects of beta-hydroxy beta-methyl butyrate calcium combined with exercise therapy in patients with cardiac disease: a study protocol for clinical trial
Takashi Ikeda, Ryo Miyazawa, Eisuke Inoue, Yoshitaka Iso, Daisuke Nakamura, Satoko Abe, Mitsugu Hachisu, Naonori Tashiro, Akihiro Iguchi, Kenji Aimoto, Shoko Nakamura, Hiroo Ichikawa
BMJ open, **13**: e066633, 2023
3. In-hospital blood collection increase the rate of indeterminate results in interferon-gamma release assays
Yuki Osakabe, Fumihiro Yamaguchi, Ayako Suzuki, Haruka Kitano, Mina Hiraiwa, Yo Shiratori, Shota Onozaki, Mari Nakamoto, Saori Kawamura, Miku Kosuge, Kenji Atarashi, Hidekazu Cho, Shohei Shimizu, Akira Fujishima, Yusuke Shikama
Therapeutic Advances in Respiratory Disease, PMID:35156429, 2022 Dec.
4. Efficacy of perioperative oral cefcapene pivoxil for surgical site infection prophylaxis in patients with urological diseases
Michiko Tanaka, Hideki Sugita, Jun Morita, Yuika Naito, Yoshihito Niki, Tadanori Sasaki
The Showa University Journal of Medical Sciences, **34**(4): 209-214. 2022 Dec.
5. High-Density Lipoprotein Suppresses Neutrophil Extracellular Traps Enhanced by Oxidized Low-Density Lipoprotein or Oxidized Phospholipids
Hitomi Ohinata, Takashi Obama, Tomohiko Makiyama, Yuichi Watanabe, Hiroyuki Itabe
International journal of molecular sciences, **23**(22): 2022 Nov.

6. Development of a model predicting cardiac events in heart failure patients with decreased renal function: a retrospective study
Tomokazu Deguchi, Miki Sato, Noriko Koyama, Kanako Fujita, Sakura Nagumo, Hiroshi Suzuki, Mio Ebato, Mari Kogo
International Journal of Clinical Pharmacy, **45**(1): 210-219. 2022 Nov.
7. Evaluation of in vitro transdermal permeation, mass spectrometric imaging, and in vivo analgesic effects of pregabalin using a pluronic lecithin organogel formulation in mice
Michiru Nagao, Masataka Tajima, Erika Sugiyama, Ryosuke Shinouchi, Keita Shibata, Masayuki Yoshikawa, Takushi Yamamoto, Vilasinee Hirunpanich Sato, Koji Nobe, Hitoshi Sato
Pharmacology research & perspectives, **10**(2): e00919, 2022 Apr.
8. Signal of safety due to adverse drug reactions induced by tacrolimus with or without azithromycin
Ryo Yonezawa, Tomiko Sunaga
Transplant Infectious Disease, **24**(3): e13833, 2022 Apr.

原著論文（邦文）

1. 地域包括ケアシステムの回復期における病院薬剤師と薬局薬剤師の医療連携に必要な患者情報に関する調査研究
岸本真, 荒川隆之, 川崎美紀, 藤原久登, 溝神文博, 宮川哲也, 豊見敦
日本病院薬剤師会雑誌 **58**(11): 1315-1321, 2022 年 11 月
2. 股関節置換術患者への術中からのアセトアミノフェン静注液投与による鎮痛効果の改善
松井美月, 米澤龍, 戸村和希, 島本一志, 須永登美子, 岡安理司, 渡邊徹, 佐々木忠徳
日本病院薬剤師会雑誌 **58**(9) : 1017-1023, 2022 年 9 月

ケースレポート

1. A case of blood triglyceride increased induced by ABVD therapy for classical Hodgkin lymphoma
Ryo Yonezawa, Kazushi Shimamoto, Nobuyuki Kabasawa, Mizuki Sano, Shizuko Tanaka, Mitsuki Matsui, Hiroshi Harata, Tomiko Sunaga

Leukemia Research Reports, **19** :100365 2023 Feb.

2. Case of Imatinib Susceptibility to CYP3A4-Mediated Drug-Drug Interactions in a Patient With Gastrointestinal Stromal Tumor
Tatsuhiko Fujimiya, Hideki Sugita, Masaoki Kin, Haruki Funakoshi, Yutaro Kubota, Takuya Tsunoda
American journal of therapeutics, Publish Ahead of Print, 2022
3. Development of Drug-Induced Interstitial Lung Disease After More Than 4-Years Treatment With Edoxaban: A Case Report
Eriko Takata, Kanayuki Kitahara, Nao Tanaka, Yumiko Kusunoki, Mutsumi Ando, Daisuke Inoue, Yusuke Shikama, Tomiko Sunaga
American Journal of Therapeutics, **30**(1): e77-e80, 2022 Jul.

著書

1. リハビリテーション薬剤実践マニュアル 生活機能を改善させる薬剤の選び方
田中絵里子, 藤原久登 (担当:分担執筆, 範囲:III-4 ケアステージ:回復期リハ病棟、IV-B-8 フレイル高齢者へのスタチン投与はスタチン関連症状が懸念される、IV-G-5 頻度は高くないが、中枢性筋弛緩薬は排尿に影響する可能性がある)
中外医学社 2023 年 2 月 (ISBN: 9784498067400)
2. 高齢者・褥瘡 : 薬トレ : 薬剤師の臨床センスを磨くトレーニングブック
藤原久登 (担当:分担執筆, 範囲: NSAIDs による薬剤性腎障害、フレイルの評価と予防、回復期リハビリテーション病棟、地域包括ケアシステム)
南山堂 2022 年 6 月 (ISBN: 9784525707415)

総説 (特集、解説を含む)

1. Clinical effectiveness of telepharmacy services in patients with non- communicable diseases in ambulatory care settings (Protocol)
Hideki Sugita, Miki T Sato, Takeshi Hasegawa, Hisashi Noma, Erika Ota, Shunsuke Toyoda
Cochrane Database of Systematic Reviews. Issue 2(CD015136) 2023 Feb.

2. 地域包括ケアシステムの回復期における病院薬剤師と薬局薬剤師との連携に関する調査研究
岸本真, 荒川隆之, 川崎美紀, 豊見敦, 藤原久登, 溝神文博, 宮川哲也
日本病院薬剤師会雑誌 58(10) 1217-1219, 2022 年 10 月
3. 調剤と情報 特集 「“クスリ”から“リスク”を発見！転倒予防のための薬剤管理」
藤原久登 (担当:分担執筆, 範囲:転倒発生リスクが高まる薬剤)
じほう 2022 年 8 月

講演

1. 【特別講演】エビデンスから考える回復期における薬剤師の役割
藤原久登
一般社団法人 日本病院薬剤師会 令和 4 年度中小病院薬剤師実践セミナー 2022 年 4 月 (東京)

学会発表 (シンポジウム)

1. 【シンポジウム 2】回復期病棟における薬剤師業務を考える「回復期病棟におけるエビデンスに基づいた薬剤師業務の構築」
藤原久登
第 61 回日本薬学会・日本薬剤師会・日本病院薬剤師会 中国四国支部学術大会 2022 年 11 月 5 日 (広島)
2. 【シンポジウム 6】実際、バンコマイシンの TDM はどうしてる？「重症患者 2 点採血 (ピーク・トラフ) と非重症患者 1 点採血 (トラフ) における AUC 評価」
鈴木絢子
第 71 回日本感染症学会東日本地方会学術集会/第 69 回日本化学療法学会東日本支部総会 2022 年 10 月 28 日 (札幌)
3. 【シンポジウム 5】2025 年以降を見据えた回復期病棟における薬剤師業務の再考～質の高い業務展開を目指して～「回復期病棟における薬剤師のエビデンス構築と発信」
藤原久登
日本病院薬剤師会関東ブロック第 52 回学術大会 2022 年 8 月 20 日 (横浜)

4. 【シンポジウム】エビデンスから考える回復期における薬剤師の役割
藤原久登
日本病院薬剤師会病院薬学日本病院薬剤師会病院薬学認定制度、専門薬剤師制度、生涯研修制度 e-learning 2022年8月

5. 【シンポジウム2】急性期から回復期そして地域へ～連携でつなぐ薬物療法～「回復期を担う病院薬剤師の役割」
藤原久登
第5回日本病院薬剤師会 Future Pharmacist Forum 2022年7月16日（東京、WEB開催）

6. 【シンポジウム】回復期における病院薬剤師の取り組み
藤原久登
一般社団法人日本病院薬剤師会 令和4年度中小病院薬剤師実践セミナー 2022年4月16日（東京、WEB開催）

学会発表（口頭、ポスター）

1. 好中球細胞外トラップ(NETs)形成におけるリポタンパク質の作用
大日方瞳, 小濱孝士, 渡邊雄一, 牧山智彦, 板部洋之
日本薬学会第143年会 2023年3月（札幌）

2. 急性心不全患者におけるカルペリチドの利尿反応に関連する因子とその投与方法の検討
稲本真弓, 神山紀子, 鈴木洋, 江波戸美緒, 向後麻里
日本薬学会第143年会 2023年3月（札幌）

3. 大腸外科術手術患者における大建中湯の術後イレウス予防効果に関連する因子の検討
西田純平, 栗原竜也, 小池佑果, 栗本慎一郎, 梅本岳宏, 田中邦哉, 川添和義
日本薬学会第143年会 2023年3月（札幌）

4. 腎機能低下を伴う急性非代償性心不全患者の退院後の心血管イベント予測モデルの構築
出口智一, 里美貴, 神山紀子, 藤田可南子, 南雲さくら, 鈴木洋, 江波戸美緒, 向後麻里
第86回日本循環器学会学術集会 2023年3月（福岡、ハイブリッド開催）

5. 柴苓湯と五苓散の開始4ヵ月後に薬剤性間質性肺炎を認めた症例
坂間利奈, 米澤龍, 栗屋真理子, 島本一志, 藤原久登
第12回日本薬剤師レジデントフォーラム 2023年3月5日(大阪)

6. A Model for Predicting Cardiovascular Events in Acute Decompensated Heart Failure Patients with Decreased Renal Function
Tomokazu Deguchi, Miki Sato, Noriko Kohyama, Kanako Fujita, Sakura Nagumo, Hiroshi Suzuki, Mio Ebato, Mari Kogo
American Heart Association Scientific Sessions 2022, 2022 Nov. (ハイブリッド開催)

7. 血液内科領域における抗菌薬適正使用支援チームによる広域抗菌薬使用状況の変化
鈴木絢子, 山口史博, 蒲澤宣幸, 佐々木純, 佐藤督忠, 布山正貴, 山崎洋平, 橋口深雪, 岩田香恵, 遠藤慶, 小林斉, 藤原久登
第90回神奈川県感染症医学会 2022年12月3日(横浜)

8. 当院におけるカフェイン中毒の検討
中島靖浩, 栗屋真理子, 香月姿乃, 光本明日香, 高安弘美, 前田敦雄, 宮本和幸, 佐々木純, 沼澤聡, 林宗貴, 土肥謙二
第50回日本救急医学会・学術集会 2022年10月(WEB開催)

9. 腎機能低下を伴う急性非代償性心不全患者の心血管イベント予測因子の検討: 多剤併用と β 遮断薬投与量の影響
出口智一, 里美貴, 神山紀子, 藤田可南子, 南雲さくら, 辻内美希, 磯良崇, 鈴木洋, 江波戸美緒, 向後麻里
第26回日本心不全学会学術集会 2022年10月(奈良)

10. HDL が好中球細胞外トラップ形成に与える影響
大日方瞳, 小濱孝士, 渡邊雄一, 牧山智彦, 板部洋之
第66回日本薬学会関東支部大会 2022年9月(横浜)

11. 重度の好酸球増多症の原因同定に苦渋した感染性心内膜炎の一例
川澄宏, 土至田勉, 谷崎友香, 江波戸美緒, 鈴木洋, 門脇輔, 田中弘之, 栗屋真理子, 田中菜央
第265回日本循環器学会関東甲信越地方会 2022年9月(東京)

12. タクロリムスの有害事象にアジスロマイシンによる薬物間相互作用が与える影響
米澤龍, 須永登美子
第 32 回日本医療薬学会年会 2022 年 9 月 24 日 (群馬)
13. アパルタミドによる薬疹を伴う薬剤性肺障害発症後にビカルタミドへの切替で薬疹が発症した 1 例
田中菜央, 北原加奈之, 楠裕美子, 須永登美子
第 32 回日本医療薬学会年会 2022 年 9 月 24 日 (群馬)
14. COVID-19 治療薬併用に伴いタクロリムス血中濃度上昇を認めた一例
田中道子, 米澤龍, 須永登美子
日本病院薬剤師会関東ブロック第 52 回学術大会 2022 年 8 月 (横浜)
15. 2 回目の COVID-19 ワクチン接種により静脈血栓塞栓症を生じた一例
永尾美智瑠, 米澤龍, 和田大輔, 鈴木洋, 須永登美子
日本病院薬剤師会関東ブロック第 52 回学術大会 2022 年 8 月 (横浜)
16. 地域包括ケアシステムの回復期における病院薬剤師と薬局薬剤師との連携に関する調査研究
岸本真, 荒川隆之, 川崎美紀, 豊見敦, 藤原久登, 溝神文博, 宮川哲也
第 5 回日本病院薬剤師会 Future Pharmacist Forum 2022 年 7 月 (東京、WEB 開催)
17. 健康成人男性におけるアスピリンミニタブレットとアスピリン散の生物学的同等性に関する検討
肥田典子, 山崎太義, 藤田吉明, 野田秀裕, 三井奈緒, 三邊武彦, 水上拓也, 龍家圭, 内田直樹, 村山信浩, 中村明弘, 原田努
第 37 回日本薬剤学会年会 2022 年 5 月 (WEB 開催)

その他 (セミナー、勉強会等での発表)

(院外)

1. これだけは知っておきたい褥瘡ケア～褥瘡予防から治療まで～
宮本渚
褥瘡対策セミナー 2022 年 11 月 14 日～12 月 4 日 (WEB 開催)

2. 医療系の職業紹介～AI時代での人間が携わる仕事について～
永尾美智瑠
昭和女子大学附属昭和中学・高等学校医療系職業紹介 2022年12月（東京）
3. 脂質異常症治療薬における処方監査時の注意点
藤原久登
興和研修会 2022年11月11日（横浜）
4. 心不全療養指導士の取得とこれから
中村彰子
心不全トータルマネジメントカンファレンス in 横浜川崎北部 2022年9月30日（横浜）
5. 2回目のCOVID-19ワクチン接種後に静脈血栓塞栓症を生じた一例
永尾美智瑠
医療薬学学術第1小委員会症例報告会 2022年6月（WEB開催）

（院内、大学内）

1. 大腸外科手術と漢方に関する研究
西田純平
東洋医学研究会 2023年3月22日（昭和大学）
2. 腎機能低下を伴う心不全患者における心イベント予測モデルの構築:後ろ向きコホート研究
出口智一
藤が丘病院・リハビリテーション病院第6回研究発表会 2023年3月8日（昭和大学藤が丘病院）
3. 薬剤耐性菌に対する治療戦略
鈴木絢子
藤が丘病院モーニングセミナー 2023年1月31日（昭和大学藤が丘病院）
4. 腎機能低下を伴う心不全患者における心イベント予測モデルの構築:後ろ向きコホート研究
出口智一
第386回昭和大学学士会例会 2022年12月17日（昭和大学）

5. 高齢心房細動患者における経皮的冠動脈インターベンション後の出血予測スコアモデルの構築：後ろ向きコホート研究
藤田可南子
第 386 回昭和大学学士会例会 2022 年 12 月 17 日（昭和大学）
6. 高齢酸化低密度リポタンパク質（酸化 LDL）および酸化リン脂質が促進する好中球細胞外トラップ(NETs)形成に対する高密度リポタンパク質(HDL)の抑制作用
大日方瞳
第 386 回昭和大学学士会例会 2022 年 12 月 17 日（昭和大学）
7. COVID-19 治療薬併用に伴いタクロリムス血中濃度上昇を認めた一例
田中道子
藤が丘病院・リハビリテーション病院第 5 回研究発表会 2023 年 10 月 17 日（昭和大学藤が丘病院）
8. 麻薬管理について
野田秀裕
2022 年度医療安全・感染対策講習会 A 2022 年 7 月（昭和大学藤が丘病院）
9. 活用しよう！安全博士
鈴木絢子
2022 年度医療安全・感染対策講習会 A 2022 年 7 月（昭和大学藤が丘病院）

受賞

（学会）

1. 日本薬学会第 143 年会学生優秀発表賞
好中球細胞外トラップ (NETs) 形成におけるリポタンパク質の作用
大日方瞳
2. 日本薬学会第 143 年会学生優秀発表賞
急性心不全患者におけるカルペリチドの利尿反応に関連する因子とその投与方法の検討
稲本真弓

社会活動

(職能団体)

1. 日本病院薬剤師会
 - ・ 学術委員会 学術第 1 小委員会： 藤原久登
 - ・ 学術委員会 学術第 8 小委員会： 藤原久登 (委員長), 田中絵里子
 - ・ 感染制御専門薬剤師部門 研修委員会： 鈴木絢子
2. 神奈川県病院薬剤師会
 - ・ 会員・広報出版委員会： 島本一志, 米澤龍

(学会などの学術団体)

3. 日本医療薬学会
 - ・ 代議員： 藤原久登, 杉田栄樹
 - ・ 学術第 1 小委員会： 米澤龍
4. 日本緩和医療薬学会
 - ・ 社員 (評議員)： 島本一志

(公的機関、財団、協会など)

5. 日本私立医科大学協会
 - ・ 薬剤部長会議東ブロック会： 藤原久登
6. 私立医科大学病院感染対策協議会
 - ・ 薬剤師専門職部会 サーベイランス委員会： 鈴木絢子
7. 横浜市心臓リハビリテーション強化事業 (CREYoN2 プロジェクト)： 中村彰子

(研究会)

8. 私立医大病院薬剤部研究会
 - ・ 評議員： 藤原久登, 島本一志
 - ・ 代議員： 野田秀裕, 田中絵里子
9. 臨床救急医療薬学研究会
 - ・ 世話人： 佐藤真理子

(その他)

10. 東京 DMAT

・ 隊員：杉田栄樹

11. 神奈川 DMAT-L

・ 隊員：宮本渚